



シラバス参照

タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習Ⅱ		
担当教員	尹 卿烈		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:J
講義室			
開講学期	後期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	<p>【授業の概要】 本科目は、大学生に求められる自習の学習に必要な研究方法を幅広く習得することをめざす。各回の授業は、担当教員による企画書や論文・レポートの作成方法、データや資料の収集と分析方法、基礎的なパソコンの使い方などに関する講義と履修生のグループ活動によって進められる。各グループ(4～5名)は計画的かつ積極的な活動を行い、活動の成果を企画書や調査報告書として年度末まで完成する。その際、グループの課題テーマと調査スケジュールは集団討論で決めるし、グループ活動を通じて団結力と協調の重要性、グループ活動の面白さを味わいながら学ぶことを狙っている。</p> <p>【授業の狙い】 本科目の目標は、自習学習に必要な基礎知識/情報の収集と分析、ディスカッション、プレゼンテーションに関するスキルをコラボレーションを通じて身につけることである。そのため、データや資料の収集と分析力から論文・レポートの作成方法、プレゼンテーションのスキルなど自ら研究成果を作ってあげるために必要なスキルを実践的な活動を通じて鍛える方式で毎回の授業を進める。また、各回の授業とグループ活動に必要とされる課題を出すことがある。</p>		
望ましい水準	<p>本授業では、以下の4つの目標水準の達成を求めている。 大学での専門科目履修に必要な事前知識を習得すること。 グループ課題に貢献すること。 授業内での発表と議論に積極的に参加すること。 ④各授業に必ず出席すること。</p>		
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 第2回 「調査報告書作成とプレゼンテーション」 第3回 「戦略的考え方、企画書の作成」</p> <p>第4回 グループテーマと活動計画の決定① 第5回 グループテーマと活動計画の決定②</p> <p>第6回 グループ活動① 第7回 グループ活動② 第8回 グループ活動③ 第9回 グループ活動④</p> <p>第10回 中間報告と評価</p> <p>第11回 グループ活動⑤ 第12回 グループ活動⑥ 第13回 調査報告書の作成① 第14回 調査報告書の作成②</p> <p>第15回 最終発表と評価、まとめ</p>		
教材・教科書	第1回の授業で数冊の図書をテキストと参考書として紹介する。		
参考図書			
参考URL			

授業以外の学習	調査活動の充実化を図るために授業時間以外の活動が必要な場合があるので、積極的な姿勢でグループ活動に参加することが望ましい。
成績評価の方法	定期試験は行わず、毎回授業と課題研究への参加度と成果を成績評価に反映する。各履修生の出席、報告・発言姿勢(望ましい水準)、課題への貢献度と内容(望ましい水準)などを総合的に判断し評価するが、出席状況とグループ活動への参加度を非常に重視する。
成績評価の基準	上記の評価方法によって、以下のように評価を決定する。 A 望ましい水準において、非常に高い水準を獲得した場合 B 望ましい水準において、高い水準を獲得した場合 C 望ましい水準において、一定の水準を獲得した場合 D 望ましい水準について、未達成項目があった場合 F 望ましい水準において、未達成項目が多い場合
オフィスアワー	随時受付けるが、事前に電話ないしメールにて連絡をすること。
留意点・注意事項	
その他	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	経済経営学類のディプロマポリシー／自立する力(経済経営学類Ⅰ)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	経済経営学類のディプロマポリシー／自分の意見を述べ討論し文章で表現できるコミュニケーション能力(経済経営学類-2)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	

